

□ 要請番号 (JL04520A24)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	H132 公衆衛生	20～45歳のみ	個別	新規	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ドルノゴビ県保健局

3) 任地 (ドルノゴビ県サインシャンド市) JICA事務所の所在地 (ウランバートル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 6.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同局はドルノゴビ県における保健医療分野の政策を実施する行政機関であり、総務情報課、医療サービス課、公衆衛生課からなる。全職員数は31名。年間予算は約2,600万円。公衆衛生課では県民に対し、健康維持のための啓発活動、感染症・非感染症疾患や生活習慣病の対策、予防接種の促進等の業務を実施している。2011年に米国ピースコーのボランティア1名の受け入れ経験があり、現在はKOICAボランティア(公衆衛生)が派遣されている(活動期間1年)。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

モンゴルでは一般的に病気になってから治療するという意識が強く、病気の予防や公衆衛生指導等、健康教育を強化する必要がある。同局では、医療的なバックグラウンドのある職員が、地域住民に対し、正しい生活習慣を身に付けてもらうためのセミナー等を実施しているものの、一般の人々や子どもたちが興味を持ち楽しく学べるような啓発活動、指導は実施できていない。JICA海外協力隊が協力することにより、啓発活動のアイデアやツールの幅が広がり、県民の健康への関心が高まることを期待し、今回の要請となった。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 同僚と共に県下のコミュニティや教育機関を巡回し、地域住民や学校の子どもたちに健康教育を行う。
- 地域住民や子どもたちがより興味を引く啓発活動を展開するためのツールや手法の開発に協力する。

※上記の活動内容は、配属先がイメージする協力活動であり、具体的な活動は、派遣された隊員とともにその場のニーズを調査、検討し、どういう活動を実施していくか決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、コンピューター、コピー機、プロジェクター、ノートパソコン、ホワイトボード等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:公衆衛生課職員9名(全員女性 医師)
課長(50代、経験25年)
感染症、非感染症担当5名(23-45歳、経験2-12年)
障害者、母子・妊婦担当2名(23-27歳、経験2年)
食生活・運動担当1名(33歳、経験5年)

活動対象者:同僚、地域住民(含子ども)

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（-30～30℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

保健医療福祉職種隊員の分科会での連携活動も期待される。